

Let's have a break!

国際特別委員会

IT・ICT・IoTって「ナニ」?

ITは以前から使われていますが、よくICTやIoTという言葉も耳にします。これらは何の略語でしょうか。今回は、簡単にそれらの意味にも触れてご紹介致します。

まず、ITは「Information Technology」で日本語訳は「情報技術」、パソコンやOA機器などの機器、ソフトウェア、インターネットなどの通信技術までも含むようです。

次にICTは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、ITに「Communication（通信、伝達）」が入っており、情報と知識を相互に共有するための通信による情報伝達をより重視したものとされています。厳密に言えば、PCやタブレットなどの情報端末を設置し、使用できる接続環境を整備し、それを使用しただけでは、ITであってもICTではないという事になります。

国際的にはITよりもICTという言葉が広く使われていますが、日本においては、現状、ITとICTは厳密に区別されておらず、ほぼ同義語として一般的に認識されているようです。

最後にIoTとは「Internet of Things」の略称で、「モノのインターネット」と訳されます。IoTは、ありとあらゆる「モノ」がインターネットとつながるシステムやその技術、運用方法のことを指します。

その方法は、インターネットに接続された「モノ」から必要な情報データをセンサーで自動的に収集し、その膨大なデータ（ビッグデータ）を蓄積して、人工知能が分析し、インターネットを経由して、「モノ」に指令データをフィードバックし作動させ課題を解決するという仕組みです。

すでに、電化製品、自動車、医療、倉庫管理など、広くIoTが利用されており、身近な例では、インターネットを利用して携帯で遠隔操作できる視聴覚機器や自動運転の家電があります。工場の生産ラインや運送トラックをインターネット経由で自動的に管理をする事もIoTです。

今後も、ビッグデータが蓄積され、一定の規制のもとにそれを活用することによって、より便利に生活できるようになるといいですね。

（田中久義）